

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **02-213983**

(43)Date of publication of application : **27.08.1990**

(51)Int.CI.

**G06F 15/62**

**G06F 15/70**

**H01L 21/60**

(21)Application number : **01-035401**

(71)Applicant : **MITSUBISHI ELECTRIC CORP**

(22)Date of filing :

**15.02.1989**

(72)Inventor : **YAMAMOTO KANEHISA**

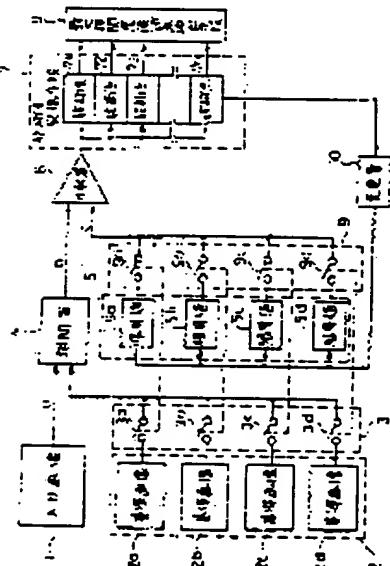
## (54) RECOGNIZING METHOD OF WIRE BONDING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve the recognition accuracy and recognition rate by setting a correlation value limit value according to a reference image and varying the correlation value limit value according to the number of candidate points.

CONSTITUTION: A comparator 6 compares the degree (b) of correlation with the correlation value limit value (b) and when the degree (b) of correlation is larger than the correlation value limit value (c), the current degree (b) of correlation and coordinates in an input image (a) are registered in a candidate point storage means 7. This operation is executed for whole part of the input image (a), and all candidate points are registered in the candidate point storage means 7, sequentially. At this time, the correlation value limit value (c) is set to a proper value corresponding to a selected reference image and a proper number of candidate points are extracted.

If the state of an input image (a) changes and a proper number of candidate points are not obtained with the set correlation value limit value, a correlation value limit value variation quantity input means 10 varies the correlation value limit value. Consequently, the recognition accuracy and recognition rate of even an image which differs in correlation degree can be increased.



---

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Your Ref: 07844-410JP1  
Our Ref: PA971

**Translation of Selected Portions of  
Pat. Laid-open Official Gazette**

-----  
Appln. No: 1-35401  
Appln. Date: February 15, 1989  
Laid-open Pub. No: 2-213983  
Laid-open Pub. Date: August 27, 1990

Inventor(s): Kanehisa Yamamoto  
Applicant(s): Mitsubishi Electric K.K.  
Attorney(s): Masuo Oiwa et al.  
-----

**1. Title of the Invention**

**RECOGNITION METHOD OF A WIRE BONDING DEVICE**

**2. Claims**

(omitted)

**3. Detailed Description of the Invention (Selected Portions)**

**1)**

(omitted)

## ⑪公開特許公報(A) 平2-213983

⑫Int.Cl.<sup>3</sup>G 06 F 15/62  
15/70  
H 01 L 21/60識別記号 405 C 8419-5B  
460 A 9071-5B  
301 L 6918-5F

⑬公開 平成2年(1990)8月27日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭発明の名称 ワイヤポンディング装置の認識方法

⑮特 願 平1-35401

⑯出 願 平1(1989)2月15日

⑰発明者 山本 兼久 福岡県福岡市西区今宿東1丁目1番1号 三菱電機株式会社福岡製作所内

⑱出願人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑲代理人 弁理士 大岩 増雄 外2名

## 明細書

## 1. 発明の名称

ワイヤポンディング装置の認識方法

## 2. 特許請求の範囲

基準画像と入力画像の相間を用いて基準画像と類似したパターンを探索し、物体の位置ずれ量を認識してポンディング位置を補正するワイヤポンディング装置の認識方法において、基準画像に応じてこの基準画像と入力画像との相間値限界値を設定し、相間度が相間値限界値以上となる座標を抽出して、抽出される座標の数により相間値限界値を変化させることを特徴とするワイヤポンディング装置の認識方法。

## 3. 発明の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

本発明はワイヤポンディング装置の認識方法に関するものである。

## (従来の技術)

第2図は、相間により入力画像の中から基準画像と類似したパターンの座標を抽出する認識方法

の従来例を説明するための認識システムを示すブロック系統図である。同図において、1はリードフレームまたはICチップ等の認識対象の認識点からカメラによって入力される入力画像を取り込む入力画像取込手段、2は基準画像2a~2dで示すように認識点毎に設定・記憶される位置ずれ量検出のための特徴あるパターンをもつ基準画像記憶手段、3はスイッチ3a~3dにより認識点に対応する基準画像を選択する基準画像選択手段、4は入力画像取込手段1の入力画像aと選択された基準画像との相間演算を行ない、結果として基準画像との類似度(以下「相間度」という)を出力する相間器、5は入力画像aの中の相間演算対象画像が選択された基準画像と類似していることを相間度との比較により判定するための相間値限界値入力手段、6は相間度が相間値限界値より大きいときにその画像が類似していると判定し、その座標(以下「候補点」という)を取り出すための比較器、7は候補点と相間度を記憶する候補点記憶手

段、8は候補点記憶手段7の候補点71～7nから相関度が最大である候補点を抽出する最大相関度抽出手段である。

次に動作について説明する。リードフレームまたはICチップ等の認識対象物により認識点が決定すると、基準画像選択手段3のスイッチ3a～3dによりそれに対応する基準画像2a～2dのどれかが選択される。この選択された基準画像と入力画像aの一部を相関器4に入力して相関演算を行ない、相関度bを求める。相関度bと相関限界値cとを比較器6で比較し、相関度bが相関限界値cより大きければ、このときの相関度と入力画像a中の座標を候補点記憶手段7へ登録する。相関度bが相関限界値cより小さければ登録は行なわない。この動作を入力画像aの全部分に対して行ない、全ての候補点を順次候補点記憶手段7へ登録していく。上記動作が終了したら、最大相関度候補点抽出手段8により全候補点の中で相関度が最大である候補点を抽出する。図示はしていないが、このときの候補点における座標と基準

(2) 座標との差が認識対象物の位置ずれ量となる。

(発明が解決しようとする課題)

上記のような従来の認識方法では、認識点全てを一定の固定された相関限界値により認識しているので、認識点毎の入力画像の状態(画像の濃度や輪郭形状)が異なったり、入力画像の状態が光の具合等で変化した場合に相関度が異なり、候補点が多数抽出されたり、また候補点が抽出されなかったりして、認識精度・認識率が悪いという問題があった。

本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、相関度が異なる画像であっても認識精度および認識率の高いワイヤボンディング装置の認識方法を得ることにある。

(課題を解決するための手段)

このような課題を解決するために本発明は、基準画像に応じてこの基準画像と入力画像との相関限界値を設定し、相関度が相関限界値以上となる座標を抽出して、抽出される座標の数により相関限界値を変化させるようにしたものである。

### (作用)

本発明によるワイヤボンディング装置の認識方法においては、認識点毎の画像の濃度や画像の物体の輪郭形状によって異なる相関度に対し、また入力画像の状態の変化によって変わる相関度に対し、適切な候補点を得る相関限界値が設定される。

### (実施例)

第1図は本発明によるワイヤボンディング装置の認識方法の一実施例を説明するための認識システムを示すブロック系統図である。同図において第2図と同一部分又は相当部分には同一符号が付してあり、5a～5dは基準画像毎に設定された相関限界値、9は基準画像に対応する相関限界値を選択するための相関限界値選択手段、10は候補点の登録結果により相関限界値を変更するための相関限界値変更量入力手段である。

リードフレームまたはICチップ等の認識対象物により認識点を決定すると、基準画像選択手段3のスイッチ3a～3dによりそれに対応する基

準画像2a～2dのどれかが選択されると同時に相関限界値選択手段9のスイッチ9a～9dにより上記選択された基準画像に対応する相関限界値5a～5dのどれかが選択される。従来技術と同様に、上記選択された基準画像と入力画像aの一部を相関器3に入力して相関演算を行ない相関度bを求める。相関度bと相関限界値cとを比較器6で比較し、相関度bが相関限界値cより大きければ、このときの相関度bと入力画像a中の座標を候補点記憶手段7へ登録する。この動作を入力画像aの全部分に対して行ない、全ての候補点を順次候補点記憶手段7へ登録していく。このとき相関限界値cは選択された基準画像に応じて適切な値に設定されており、過度の数の候補点が抽出される。もし、入力画像aの状態が変化して、設定してあった相関限界値では過度の数の候補点が得られなかった場合は、次のように相関限界値変更量入力手段10により相関限界値を変更する。

候補点が多数抽出されるのは相関限界値が低

いためで、正の変更量を加えて相関値限界値を高くする。また、候補点が無いのは相関値限界値を高いためで、負の変更量を加えて相関値限界値を低くする。

この再設定された相間値限界値により再度上記の動作を過度の歎の候補点が得られるまで行なう。

上記動作が終了したら、最大相関度候補点抽出手段8により全候補の中で相関度が最大である候補点を抽出する。従来技術の説明におけると同様に図示はしていないが、上記相関度が最大である候補点における座標と基準座標との差が認識対象物の位置ずれ量となる。

なお、第1図に示した認識システムはハードウェアで構成した例であるが、このシステムの動作をソフトウェアで行なわせても同様の効果がある。

### (発明の効果)

以上説明したように本発明によるワイヤボンディング装置の認識方法は、基準画像に応じて相關値限界値を設定し、接続点数に応じて相關値限界値を変更するようにしたことにより、相關度が異

(3)

なる画像であっても、また相関度が変化する画像であっても、その画像に適切な相関値限界値を設定できるので、認識精度および認識率が高くなるという効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明によるワイヤボンディング装置の認識方法の一実施例を説明するための認識システムを示すブロック系統図、第2図は従来方法を説明するための認識システムを示すブロック系統図である。

代理人 大岩增雄

